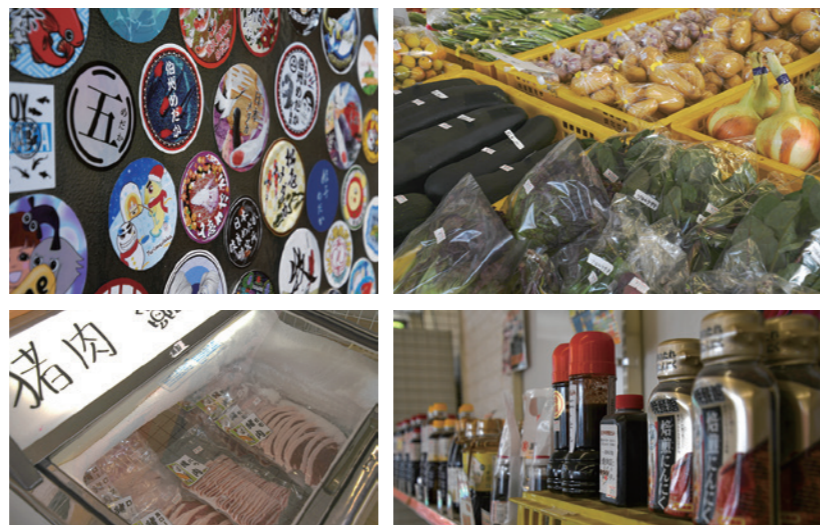




レジでお客さんと話している古田さん。タコや魚など、特に海産物に関しては仕入れの要望が多いそう。また、敷地内にあるスペースをめでか販売業者に貸し、週末のイベントなどでめでか販売を行うことも。「何をしてるんだろう?」とおもわず寄ってみたいくなるお店だ。



レジでお客さんと話している古田さん。タコや魚など、特に海産物に関しては仕入れの要望が多いそう。また、敷地内にあるスペースをめでか販売業者に貸し、週末のイベントなどでめでか販売を行うことも。「何をしてるんだろう?」とおもわず寄ってみたいくなるお店だ。

『島を盛り上げたい』
という原動力

今でも十分さまざまな商品が置いてあるよってみんな菜。しかし、今後はスーパの機能も持つお店にしたいと古田さんは意気込む。「野菜は地元の方も観光客の方も、朝買いに来る人が多いからすぐに売り切れる。だから、地元の野菜だけじゃなく、市場からの野菜も仕入れられたら、特に地元の人は時間を気にせず店に寄れるしね。あとは駄菓子も増やして、子どもたちが気軽に寄れる場所にするのが今の目標かな」

自分も働く人も、お店に訪れる人も、みんなが楽しめる場所。自分のアイデアや行動がきっかけで、少しでもお店に

楽しんでた。近所の人だと、毎日来てくれる人もいる。必要なものが手に入らないなら、要望にできる限り応えたいし、簡単に『できない』とは言わないね」

オープンして約2年半、今ではメディアに出る機会も増え、地元のお客さんだけではなく、広島市や呉市からお客さんが来ることも増えた。だからこそ、古田さんは自分の足で色んな場所を回り、お客さんが喜ぶ商品を仕入れられるよう、常に動いているという。「この店で行けることはしていきたい。今もやっているけど、キッチンカーを置いたり、イベントをしたり、他の市町の特産品とか、島には置いて無いものを仕入れてみたい。基本的には、お客さんに楽しんでほしいという思いで動いている。店に来る人みんなが楽しめる場所にしたいからね。うちは人で成り立っている部分が多いから、最大の収入は『みんなの笑顔』。儲けることも大事だけど、笑顔の方が重要よ(笑)！」

来れる人が増えれば、人の流れを作ることが出来るかもしれないと話す古田さんは、最後にこんな思いを話してくれた。「やっぱり、生まれ育ったこの島が好き。島から大きな市になって、バラバラは寂しいじゃない、うちだけ盛り上がりつつも面白くないし、どうせなら色々な人と繋がって、みんなで一緒に江田島市を盛り上げたい。内側から盛り上がりた外には発信できないからね。だから、自分が江田島市のことでPRできることは何でもするし、島の人もそうじゃない人も、みんなが今よりもっと江田島市のことを好きになればいいよね」

働いていた運送会社の社長に言われた『やる前からできんって言うな』という言葉。まずは挑戦してみよう、壁にぶつかれば、あれこれ考えて、わからなければ人に聞いてみる。古田さんの、働く上でのモットーだ。「行動してできないは良い、と。それが糧になっているから、これからは人とどんどん接して、色んなことを吸収していきたい。年が若からうが、上だろうが、教えてもらえないものは教えてもらう。そうやって、自分自身も、お店もずっと成長していきたいです」こうした考えが、少なからず江田島市の『内側』からの盛り上がりにつながっている。

ETAJIMA GoON!

エタジマゴーオン



『みんなの笑顔』が
最大の収入なんよね。

Vol.14

江田島町・鷺部
よってみんな菜 江田島

江田島町鷺部にある「よってみんな菜 江田島」。ライオンや消防車のオブジェ、色とりどりの幟が目を引きこのお店には、『島を盛り上げたい』という一心で動き続けるオーナーがいました。

すべては店に寄ってしてくれる人のために

江田島市消防本部のすぐ近く、目に飛び込んでくる大きなライオンのオブジェ。この不思議な外観のお店は「よってみんな菜」という名の通り、おもわず寄ってみたいくなるお店だ。

「ライオンはね、貰ったけん置いただけよ(笑)」と気さくに話しかけてくれた店のオーナー・古田さんは、元々は運送会社で働きながら、父親から受け継いだという農業をしていた。ある時、同じように野菜を作る近所の人や知り合いが、野菜を作っても売れる場所が無いと話しているのを聞き、だったら自分が売れる場所を作ろうと思ったのが、お店を開きかけたきっかけという。「ご年配の方なんて特に元気が無かったんだよね。せっかくだから作った野菜を廃棄するのももったいないし、何か自分ができることは無いかと思っていたら、タイミング良く事業者が貸していた物件が戻ってきたのもあって、野菜を売る場所としてお店を開こう」と鷺部で生まれ育った古田さんは、慣れ親しんだこの土地に、2019年12月、よってみんな菜 江田島をオープンさせた。

店内には地元で採れた野菜を中心に、牡蠣などの海産物、猪肉や雑貨まで、ありとあらゆる商品が置いてある。「雑貨とかは、基本的にお店に置いてもらえないかと持ってくる人が多い。あとは、インスタグラムで繋がった事業者さんの商品を置いたりね。交通の手段が無くて島から出れない人もいるでしょ?そういう人たちにも、買い物を楽しんでほしいので、積極的に商品を仕入れてます」取材中にも、お客さんが一人、また一人と訪れ「タコが欲しいけん仕入れてや」「魚はいつ入ってくる?」など、古田さんに声を掛けながら買い物をする人が続々と訪れる。

ACCESS

よってみんな菜 江田島
江田島市江田島町鷺部 1-38-3
営業時間: 10:00 ~ 17:30(火曜日は午前中のみ)
定休日: 不定休(道沿いに幟が出ていれば営業中)
電話: 0823-69-9155 / 駐車場: あり

PICK UP

幟が目印!
定期的にイベントも開催中

目印は、道沿いに並ぶ幟。店前にある大きなライオンのオブジェをよく見ると、招き猫がお客さんをお呼び込んでいます。食品だけでなく、江田島市の特産品である花き類や、雑貨も販売されていて、週末には定期的にイベントも開催中。チキンやクレープ、たい焼きなどみんなが喜ぶキッチンカーが出店していますので、見かけた際は寄ってみんなさい。

最新情報は Instagram で ▶